

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	救助現場において重機崩落の危険性を感じた事例
3. 体験した事例の中心的要素	重機に挟まれた要救助者を救出活動中、開放した鉄骨部分が腐食しており崩落の危険性があった。
4. 体験した事例の原因・理由	急を要する救助現場において、安全策を講じる時間的余裕がとれないこと。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成27年1月19日 午後5時頃
2. 発生した当時の天候	雪
3. 発生した活動現場	屋内：工場の作業棟
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	崩壊・倒壊（に巻き込まれる）、爆発・破裂
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	人命検索・救出
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1，2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[51]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[30] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[35]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[16] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[26]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8] 年、階級[消防士] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	同僚の工場員	ベルトコンベアーのベルトを一部切断	崩落の危険①
経過2	救急隊	応急処置(酸素投与含む)	
経過3	救助隊	スペース解放のためスプレッターを使用	
経過4	〃	〃 油圧カッターを使用	
経過5	〃	〃 ラムシリンダーを使用	崩落の危険②
経過6	同僚の工場員	工場所有のガス溶断器を使用	爆発の危険 酸素投与中断
経過7	救助隊	切断部をラムシリンダーで開放	崩落の危険③
経過8		要救助者救助完了	
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。 指揮者が適切に指示した。 他隊(員)との連携活動がうまくいった。 他隊(員)から適切な注意を受けた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

ベルトコンベアー回転方向



腹臥位

【応急処置】

- ・酸素投与
- ・保温
- ・バイタル測定

【使用資器材】

- ・油圧救助器具(スプレッター、
カッター、ラムシリンダー)
- ・ガス溶断器

ベルトコンベアーに
巻き込まれ右上腕が
挟まれた状況

